

## 1. 実施機関

国立大学法人神戸大学

## 2. 企画名

根源を問い革新を生む国際的科学技术人材育成挑戦プログラム

## 3. 総合評価コメント

受講生の募集・一次選抜では、近隣地域の教育委員会との連携や、ウェブサイトからの応募受付など、着実に応募者を増やす取組を行っている点は評価できる。また、一次選抜後の基礎ステージにおいて、実施機関および共同機関のキャンパス等を活用して複数拠点で並行的に講座を開催し、分野の多様性や受講生の利便性を向上させている点も評価できる。さらに、受講生・教員の議論や情報共有のための既存のコラボレーションツールの活用、受講生のメンタル面をケアするためのメンタルサポート班の設置、などの工夫が見られる点も良い。

しかしながら、講座や受講生の研究指導では多様な分野の教員が関わっているものの、個々の教員による協力が中心となっており、実施体制として全学的な組織による支援が十分とはいえない。また、学会発表や科学技術コンテスト参加など受講生の対外的な活動を積極的に促進する必要がある。研究テーマの設定、実践ステージにおける研究活動の推進、育てたい人材像に照応した評価基準・方法の改善により、多様な成果を創出し、企画名に掲げる「根源を問い革新を生む国際的科学技术人材」に結実させていくことを期待する。